



令和3年度災害廃棄物対策推進検討会（第2回）
事例紹介：人材バンク派遣（熱海市土砂災害）
令和4年1月19日 千葉県館山市環境課半澤

I 支援内容

1 発災～派遣 「被災市の事務負担を軽くしたい」「円滑処理の力になりたい」

7月3日：発災

7月7日：環境省から派遣「意向確認」

7月9日：被災市（熱海市）職員と連絡開始（被災市が日中多忙のため、原則、メール）

発災～2週：事業費確保、初動期の庁内外周知、公費解体スキーム、庁内応援体制等の資料提供

～4週：仮置場、解体の契約関係資料等の提供

～6週：仮置場、解体の運用関係資料等の提供

～8週：派遣調整（8月26日：派遣要請）

当市災害廃棄物処理事業に関する資料



I 支援内容

2 派遣時 「廃棄物の発生状況を現地で確認したい」「職員の考えを対面で深く知りたい」

派遣：令和3年8月31日

午前：現場確認（処理方針への助言）

午後：意見交換（事務体制への助言）

⇒ 現場を見て、課題を聴き、経験を伝え、資料を提供し、処理を後押しする

対応者：環境省、静岡県、熱海市（受援）、館山市（支援）

環境省2名：災害廃棄物対策室 主査、関東地方環境事務所 巨大災害廃棄物対策専門官

静岡県1名：廃棄物リサイクル課資源循環班 専門主査

熱海市4名：環境センター 所長、主幹、技師、主任

館山市2名：災害廃棄物処理支援員（秘書広報課 課長、環境課 一般廃棄物係長）

午前：現場確認

被災現場



がれき発生状況



午後：意見交換



主な内容

- ① 被災家屋の解体撤去、費用償還に関する制度設計、運用の留意点
 - 被災市の状況：対象者への意向調査、実施要綱や対応マニュアルの作成は未実施
- ② 補助金申請事務（災害報告書作成、災害査定対策）の困難さ
 - 被災市の状況：査定資料となる災害報告書の作成に未着手
- ③ 災害廃棄物対策チーム編成（館山市：統括、廃棄物、法務、財務、建築）の必要性
 - 被災市の状況：環境センター職員が増員無く、通常業務と並行して災害廃棄物処理に従事

II 支援のポイント

①ニーズの汲み取り

- ・現場を知る環境省との情報共有の徹底
- ・相手からの連絡には、時間に関係なく対応
- ・相手の求めに応じただけでは不足と感じた場合に「この点には困っていないか」と先回りし尋ねたり「当市ではこんな事があった」と付け足して回答

②工夫した点

- ・信頼関係の構築を常に意識
- ・相手の求めには100%応じる
- ・経験、資料は出し惜しみしない
- ・相手と自分の被災状況の違いに配慮
- ・ノウハウの伝達＋モチベーションの維持も意識

③受援先の反応

- ・被災直後は受援のイメージが湧かない様子だった
- ・通常業務、被災者対応、災害廃棄物対応、業者対応で、受入れマネジメントの余裕はない状況
- ・長文メールや厚めの資料も洩れなく確認してくれた(情報への貪欲さ、処理前進への強い責任感)

④支援した効果

- メール支援
- ・提供の仕様書等は多少参考にさせていただいた模様派遣
- ・被災の状況、職員の個性を把握でき、メールのみでのやり取りより、効果的な助言が可能となった

支援側の当市としても、被災市に提供する資料の確認をしながら、今後の備えへの点検ができ、また、当市と異なる被災状況に関わることで新たなノウハウが積み、得るものが多かった。

III 人材バンク制度への期待・課題

1 人材バンク制度への期待

- この制度は被災自治体の「災害廃棄物処理チーム」を拡張する（＝仲間が増える）もの
- 小規模な地方自治体でのスタンドアロンの対応から、全国規模でのクラウド的な対応を可能とする
⇒ 多くの被災自治体のリソース不足を解消する、高いポテンシャルを持つ制度だと感じる

2 今後の活用に向けて、今回感じた課題

- 支援の大半は現地ではなく、事前のメールによる資料提供であったが、これは派遣要請前の非公式支援
- 現地に行くことで、状況を的確に掴め、被災市とのコミュニケーションも円滑化し、効果は大きかった
- 早期の現地入りが望ましいが、派遣の決定には被災市による派遣依頼の発出が必要
⇒ 発災直後の被災市には、派遣の受け入れをマネジメントする人的余裕が無いという課題にも対応したい
- 支援市からの派遣（及びメール等での派遣を伴わない事務支援）には、支援市庁内での合意形成が不可欠
- 人材バンクの制度上、支援義務はないため、支援市庁内の事情で支援できない場合もある
- 支援員が、その経験の範囲だけでは支援しきれない場合もある
⇒ 被災市の状況に適した特性の支援員を、適した人数、安定的に確保できるのかは課題となるのではないか

令和3年度災害廃棄物対策推進検討会（第2回）
事例紹介：人材バンク派遣（熱海市土砂災害）
令和4年1月19日 千葉県館山市

— 派遣職員 —

総合政策部 秘書広報課長 佐野 能弘

建設環境部 環境課 一般廃棄物係長 半澤 大